平成26年度（5年目）試験放流計画（案）

試験放流計画一覧

期　間	放　流　量　（m³/s）				
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
4月1日～7月19日	50.0	50.0	40.0	4月1日～11月30日は40.0以上（流量変動に配慮した放流） 12月1日～翌3月31日は40.0	4年目までの試験放流結果を踏まえた放流
7月20日～9月10日	80.0	80.0	60.0		
9月11日～11月10日	100.0	80.0	60.0		
11月11日～翌3月31日	50.0	50.0	40.0		

注1) 目的に応じて方法・期日等を定め、可能な期日に放流量を120 m³/s 以上とするなど、必要な試験放流を行うことがある。5年後の許可の更新に当たっては、調査検証の結果を踏まえて申請する。

注2) 平成22年6月9日に、国土交通省北陸地方整備局長が東日本旅客鉄道(株)千手発電所・小千谷発電所・小千谷第二発電所の河川法第23条（流水の占用）の許可がなされ、平成22年6月9日18時から取水及び試験放流が開始された。

平成26年度（5年目）試験放流計画詳細（案）

期間ごとの試験放流量は、下表のとおりとする。

期間	放流量（m^3/s）
4月 1日 ～ 11月30日	①40.0以上（流量変動に配慮した放流量） ②100.0
12月 1日 ～翌 3月31日	40.0

①放流量40.0m^3/s以上（流量変動に配慮した放流量）
4月1日～11月30日までの流量変動に配慮した放流量は、下表のとおりとする。

基準流入量（m^3/s）	85以上 180以下	180超 240以下	240超 300以下	300超 340以下	340超 380以下	380超
試験放流量（m^3/s）	50.0	60.0	70.0	80.0	90.0	100.0

※サケ漁場調査の実施にあたって、固定放流を行う場合がある。
※十日町市が実施するラフティング調査にあたって、固定放流を行う場合がある。

②放流量100.0m^3/s（流入量135m^3/s以上で実施）
夏季の高水温期（7/26～9/5）に、水温に対する影響を検証するために過去の調査結果等から最高水温が28℃を連続して超えることが想定される日に放流量100.0m^3/sの試験放流を行う。

注1）各試験放流は、放流量にかんがい用水の供給に必要な35m^3/sを加えた流量以上の流入があるときに実施する。

注2）宮中取水ダムからの放流量は、取水量が許可取水量に達した場合、その他発電所の運用上の理由により、試験放流量を上回る場合がある。

注3）基準流入量とは、前日0時～24時における宮中取水ダムへの日平均流入量とする。